

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.66 令和元年6月17日発行

土湯温泉町地区都市再生整備計画事業(福島市)

観光交流センター「湯愛舞台」

まちおこしセンター「湯楽座」 オープン



福島市土湯温泉町の観光交流センター「湯愛舞台」と、まちおこしセンター「湯楽座」が令和元年5月24日にオープンしました。

当施設は、福島市が実施していた『土湯温泉町地区都市再生整備計画事業』で整備されました。

湯愛舞台 観光交流センター



▲観光交流センターには展望広場やイベントスペース、日本三大こけしの『土湯こけし』の製作体験室などが設けられています。

▶展望広場からは温泉街全体を見渡すことができます。



展望広場

湯楽座 まちおこしセンター



◀まちおこしセンターは、廃業した旧いまずや旅館を改修して整備され、観光案内所や土産物などを扱う店舗、飲食店、宿泊施設が入る複合施設です。

土湯温泉町地区都市再生整備計画事業について

土湯温泉町地区都市再生整備計画事業は、平成 26 年度から平成 30 年度の5年間で、

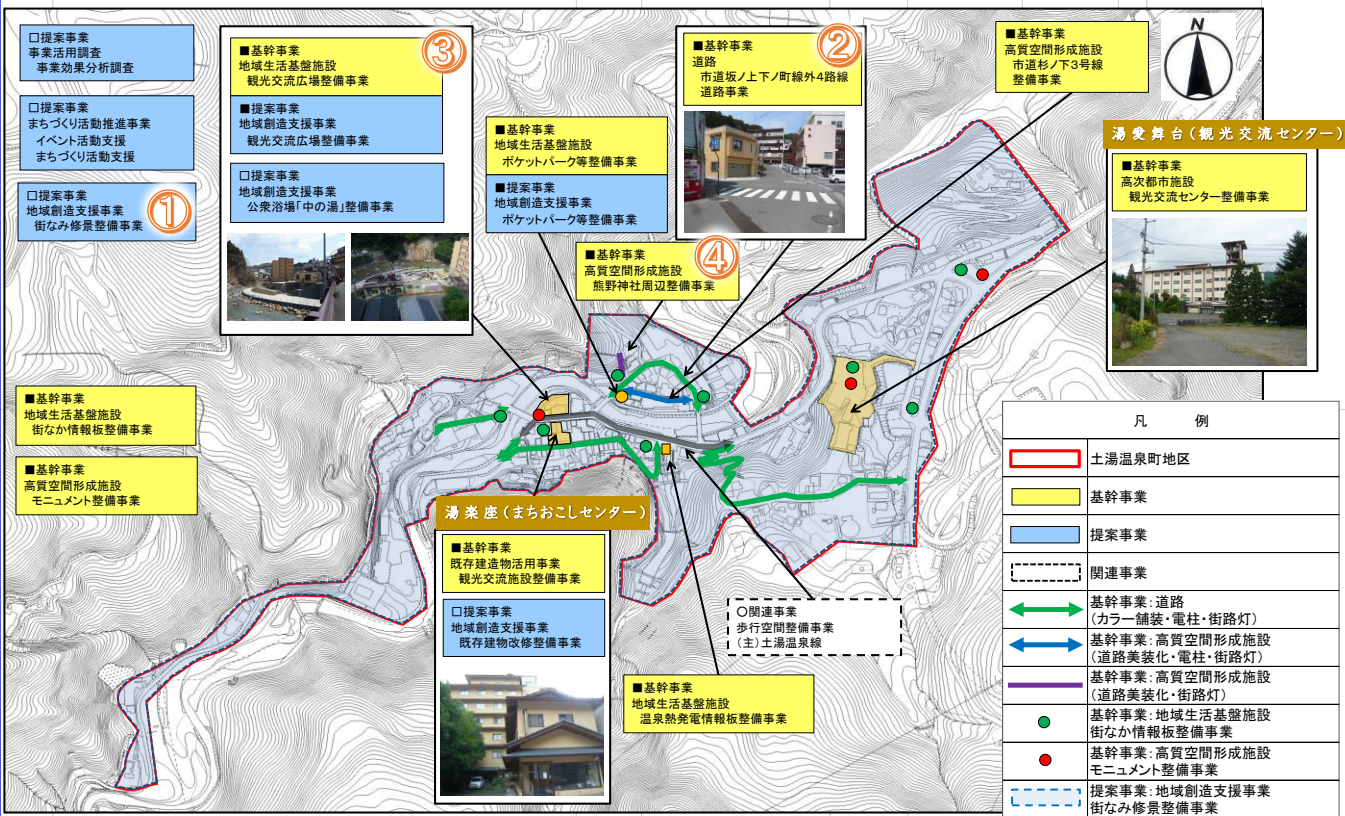
- ① 安心と快適が実感でき歩いて楽しめるネットワークの形成
- ② 温泉観光地としての魅力向上と賑わい創出

の2つの整備方針に基づき、観光交流センターやまちおこしセンター整備の他にも、道路の高質化、温泉情緒を活かした修景整備、案内板の設置等が実施されました。

今回は、土湯温泉町地区都市再生整備計画事業についてご紹介します。

土湯温泉町地区(福島県福島市) 整備方針概要図

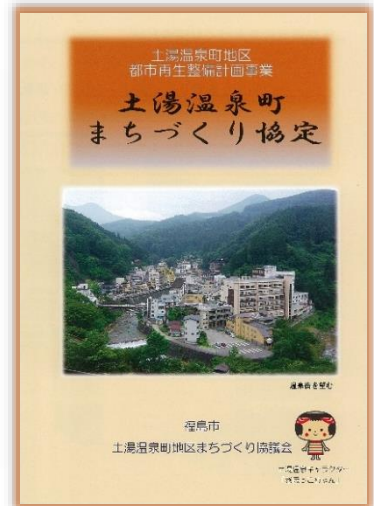
目標	国立公園の自然環境と古くから栄えた温泉地としての歴史文化、エコ温泉地としての様々な取り組み実績を最大限に活かし、地域一体で築き上げる「こけし育む 健康・湯の里 土湯温泉」を目指す	代表的な指標	拠点施設利用者 (人/年)	19,436 (24年度)	→	23,300 (30年度)
			歩行者通行量 (人/日)	1,522 (25年度)	→	1,900 (30年度)
			観光客入込数 (人/年)	154,890 (24年度)	→	193,000 (30年度)



土湯温泉町まちづくり協定

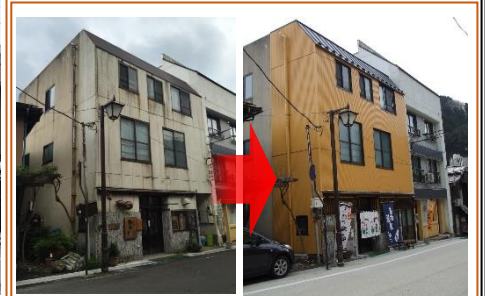
温泉情緒を活かした修景整備を促進するため、土湯温泉町まちづくり協定を締結し、和を基調とする統一感のある街なみが形成されました。

協定では、「外壁は和風を基調とした無彩色系や、茶系の落ち着いた色彩とし、道路に面した部分は、できるだけ木材、石、漆喰等の自然素材を使用する」とされ、他にも「屋根」、「外構」、「附帯構造物・車庫等」、「看板、広告物」、「店舗施設等」、「コンクリート構造物」について基準が定められています。



① 街なみ修景整備(地域創造支援事業)

▲土湯温泉町まちづくり協定



▲修景整備を行った建築物の例(左:修景前、右:修景後)

『土湯温泉町まちづくり協定』に基づき、建築物の意匠、形態、色彩等の修景整備を行いました。修景整備の事業主体は店舗などの地域の皆さんで、市が修景整備に要する費用の2/3以内(200万円上限)を事業主体に補助しました。



温泉情緒を活かした土湯温泉町の街なみ(湯愛舞台展望台から撮影)

②道路の美化化



▲カラー舗装を行った市道上ノ町・堂ノ上線(左:舗装前、右:舗装後)

温泉地内の主な道路(市道坂ノ上・下ノ町線、市道上ノ町・堂ノ上線、市道下ノ町・堂ノ上線、市道上ノ町・大岩線、市道西ノ道・赤坂線)において、温泉観光地として統一感のある景観を確保するため、カラー舗装が実施されました。



▲市道上ノ町・堂ノ上線



▲市道下ノ町・堂ノ上線

③公衆浴場「中之湯」整備(地域創造支援事業)



老朽化のため休業していた公衆浴場「中之湯」が地域創造支援事業で整備され、リニューアルオープンしました。

▲リニューアルした公衆浴場「中ノ湯」

中之湯には大浴場の他に休憩室や4つの貸切風呂もあります。

また、建物の外には交流広場や無料で利用できる足湯「きぼっこの湯」もあります。



▲整備前の様子



④熊野神社周辺整備(高質空間形成施設)



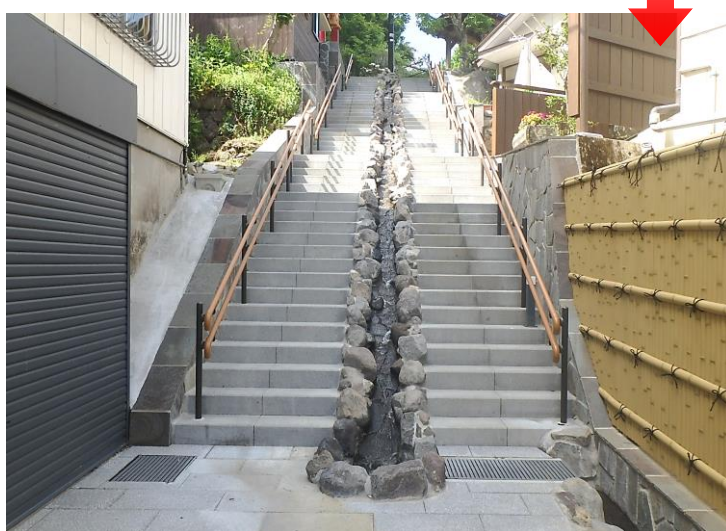
▲整備前(全景)

熊野神社へ通じる階段の高質化を行いました。

階段の先には、平成24年に当時の皇太子妃雅子殿下が新年歌会始で詠まれた歌碑が建設された歌碑公園もあります。



▲整備前(階段部)



◀▲整備後(左:全景、右:階段部)

編集後記

今回は福島市土湯温泉町地区についてご紹介いたしました。生まれ変わった町の魅力を少しでも感じていただけたら幸いです。

土湯温泉町は都市再生整備計画事業のほか、地元の方々による温泉熱を利用した発電やエビの養殖など様々な取組を行っており、平成31年2月7日には地元のまちづくり協議会が『第3回先進的まちづくりシティコンペ』国土交通大臣賞を受賞しました(瓦版 Vol.65 掲載)。

紹介した他にも取組がたくさんありますので、皆様も復興した土湯温泉へ訪れてみてはいかがでしょうか。



土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は



【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/machi/>